

## 企業価値向上に役立つソフトウェアとソリューション

顧客企業内に埋もれているさまざまなデータをソフトウェアによって集め、整え、経営に活用していただくことで、その価値を解放し、企業価値の向上に貢献します。

お客様のの中に埋もれている価値を  
“アンロック”し、  
企業価値を向上

**DivaSystem LCA** 連結会計システム

企業価値向上のベースとなる正確な会計情報を集め、計算する

- 連結会計・連結決算の一連の業務を効率化

連結決算開示事業 ▶▶▶ 経理部門



事業セグメントに基づいて  
価値単位を分解し、再構成

業績報告

**TRINITY BOARD** 取締役会 DXプラットフォーム

取締役会の議論や  
意思決定を高度化

- 取締役会の運営をワンストップでシステム運用・管理
- 社外取締役との情報ギャップを解消
- 運営の効率化と情報環境の整備により本質的な議論の時間を創出

連結決算開示事業 ▶▶▶ 取締役会

価値の可視化と構造化により、  
的確な経営判断を促進

**AVANT Cruise** グループ経営管理システム

企業価値向上に役立つ  
多様な情報を集め、整える

- 社内に点在する財務・非財務データを統合して一元管理
- 利活用できる価値ある情報に加工し、経営管理の効率化と高度化につなげる

経営管理ソリューション事業 ▶▶▶ 経営企画部門

**AVANT Chart** グループ経営管理ダッシュボード

高度なKPI・経営情報分析によって  
企業価値を可視化

事業管理～グループ経営管理～企業価値をつなぐ

**AVANT Compass** 企業価値分析クラウド

企業価値分析のベストプラクティスの活用



企業に眠っているさまざまな  
業務データ(非財務データ)を  
抽出・加工・分析

経営情報基盤を支える  
環境の整備と運用

**ZEUSCloud**

クラウド型データ分析プラットフォーム

誰もがデータを活用できる「民主化」の促進

DX推進事業 ▶▶▶ 情報システム部門

**ZEAL DX Learning Room**

eラーニングサービス

顧客社員をデータドリブン人材へ育成

**CO-ODE**

オープンデータ提供サービス

国や地方自治体が公開しているデータの活用促進

**STORYAI.**

感情分析 AI

テキストや画像からストーリーを感情分析

## 主要製品

連結決算開示事業



## 10年連続、国内シェアNo.1\*の連結会計・連結決算システム

データ収集から連結処理、レポート、決算開示まで  
一連の連結決算業務を効率化します。

解決する  
顧客課題

- 投資家や社外取締役、経営層の要望で決算早期化や開示情報拡充を求められるものの、管理部門の人手不足のため対応が追いついていない。
- 連結決算プロセスにおける監査対応が煩雑であり、時間を要してしまう。
- 担当者が決算情報の作成に時間を使ってしまうことで分析する時間が減り、連結決算プロセスの標準化や効率化について十分に検討ができない。

## 特長

**1 標準化された連結決算業務プロセスの提供**

国内シェアNo.1、累計導入実績約1,100社という実績の中で培われた標準機能を、IPO準備企業をはじめとする中堅・中小企業から大規模企業まで幅広く提供しています。「DivaSystem LCA」は、データ収集から連結処理、レポート、決算開示まで連結決算業務の一連の業務をカバーしており、標準的な業務プロセスをテンプレート、レポート、タスク管理として初めから用意しているため、連結決算が初めてのお客様でも安心してご利用いただけます。

**2 グループ経営の基盤となる連結決算システム**

連結会計と管理会計を一つのシステムで実現し、海外サブ連結や、海外拠点・子会社の会計明細データの見える化にも対応することで、グループ経営の基盤構築に貢献します。

**3 システム間データ連携機能**

クラウド経由でグループ会社や監査法人ともつながるので、効率的な「リモート決算」「リモート監査」が可能となり、監査対応の負荷が軽減されます。

\* 出典：富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2012～2021年版」連結会計管理ソフト 市場占有率推移(パッケージ)2011～2020年度実績  
ITR「IT Market View：予算・経費・サブスクリプション管理市場2022」連結会計市場：ベンダー別売上金額シェア(2015～2021年度予測)

連結決算開示事業



## 日本の取締役会を牽引するDXツール

取締役会に関するあらゆる情報をクラウドプラットフォームに集約し、  
取締役会の高度化、運営の効率化を可能とします。

解決する  
顧客課題

- 定例的な報告事項や形式的な決議事項等に多くの時間を割いており、取締役会の本来の役割・責務に合致した議論が十分にできていない。
- 社外役員に対する適時適切な情報提供が十分に行えていないために、社外役員からそのスキルや経験に応じた有用な意見や有効なモニタリングを得られていない。
- 過去の議案に関連する資料や議事録の確認が容易ではないことから、事前の確認が不十分なまま会議に臨むケースがあり、過去と同様の議論が繰り返されるような非効率の発生や、過去の議論と矛盾する判断がなされるようなケースが発生する場合もある。
- 各種データの保存先や情報のやりとりに利用するツールがメール・チャット・オンラインストレージ・スケジューラーなど、多岐にわたることにより、運営事務局の事務管理が非効率であり、また、役員にとっても最新の正しい情報の確認が難しくなる場合がある。情報共有方法がグループ会社や会議体によって異なる場合もあり、兼任の多い役員にとって情報確認が煩雑な作業になっている。

## 特長

**1 重要情報の共有**

ツールのトップページにて、理念や経営方針、中期経営計画のサマリーなど、重要な情報を全役員と共有することにより、取締役会の議論やアクションがこれらに基づいたものとなるよう誘導することができます。

**2 アジェンダの最適化**

年間アジェンダの策定・共有を容易に行うことが可能なため、各役員からの有効なフィードバックを反映させ、取締役会の本来の役割に合致したアジェンダの割合を高められます。また、アジェンダが最適となるような設計を支援すべく、ガバナンス・戦略などのテーマや報告・決議・議論に応じた時間配分、およびそれらの予実比較の分析レポートも出力可能です。

**3 情報を一元化し、管理にかかる手間を最小化**

取締役会に関するあらゆる情報を集約し、一元管理できるため、運営事務局の管理負担が大幅に削減され、迅速で万全な開催準備が可能になります。ボードメンバーは、複数のツールを組み合わせることで資料や過去のやりとりを探す必要がなくなり、事前に十分な準備をしたうえで取締役会に臨むことが可能です。結果的に取締役会の議論をより高度で意味のあるものとするのが期待できます。

# AVANT Cruise



## 企業価値向上のための グループ経営管理システム

グループ経営管理のベストプラクティスをパッケージングすることで、  
グループ経営管理の効率化・高度化を早く、簡単に実現可能にするクラウドサービスです。

### 解決する 顧客課題

- 経営分析を高度化させたいが、各部門からの業績データの収集や資料作成に多大な時間と労力がかかる。
- ESGなど多様な非財務情報の活用や開示を進めたいが、多くの部門にデータが分散しているため、一元管理するのが難しい。
- 激しい事業環境の変化に経営管理システムの機能拡張による対応が間に合わず、経営層とのスピーディーな情報連携ができない。

### 特長

#### 1 1,200社超\*のグループ経営管理支援実績から生み出された経営管理機能を標準搭載

企業の業績管理プロセス(予算、実績、見込)に対応する「グループ経営管理機能」を独自開発し、標準搭載したパッケージシステムです。実務に合わせた設計開発を必要とせず、最短3ヵ月で実装できます。データを投入・設定するだけで自動的に処理され、業績管理をすることができます。

\* 2023年11月時点

#### 2 データを一元管理し、事業全体を可視化

財務情報と非財務情報を一つのシステムで統合できます。経営管理に必要なデータが集約されることで事業全体が可視化され、経営管理のPDCAサイクルの実現に寄与します。

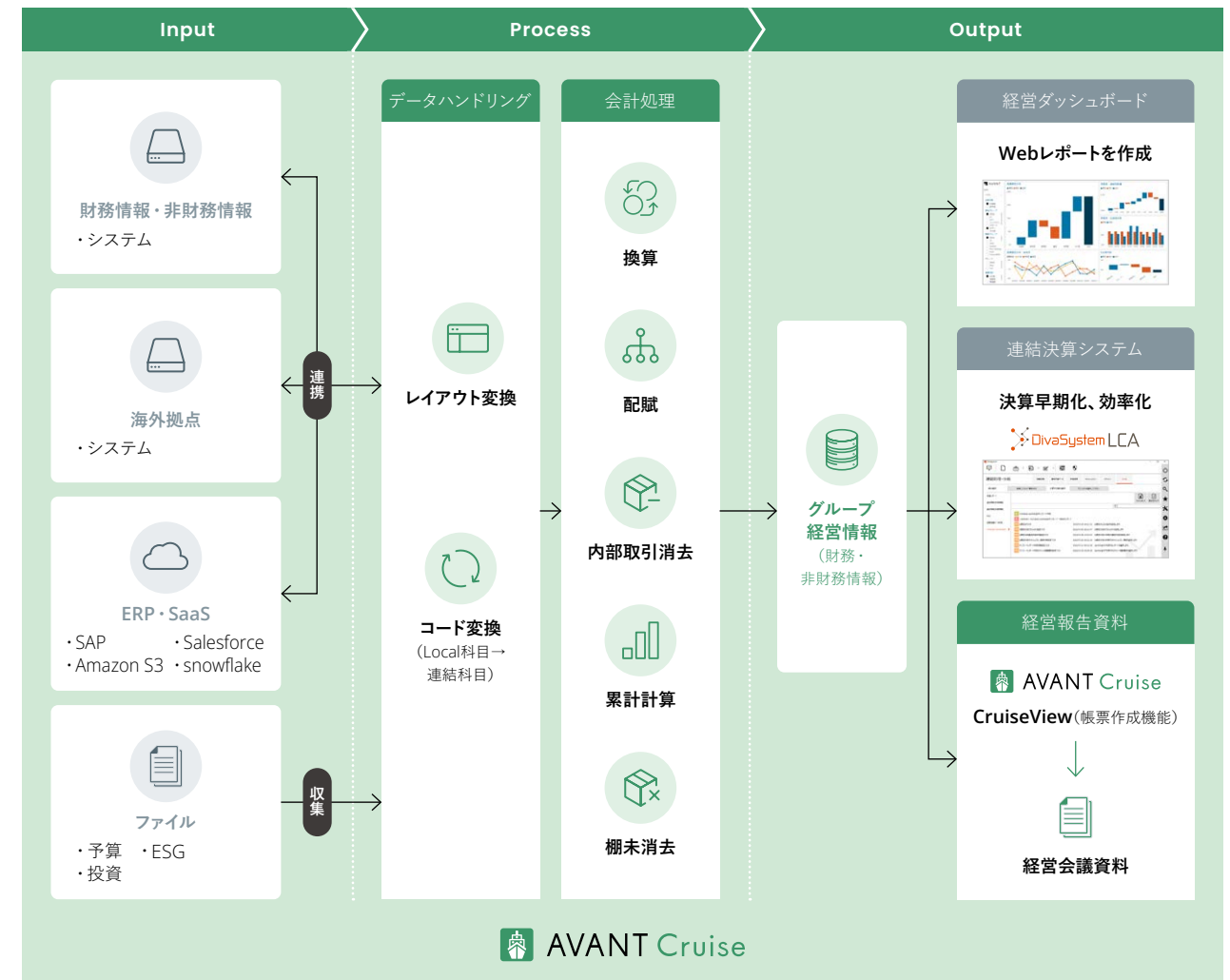
- 個別財務諸表等の財務情報と、販売明細や製造原価明細等の非財務情報をシステム間で連携
- グループ会社との経営情報の連携時に、明細データのコード体系を連結上のコード体系等に交換するマッピング機能と、レイアウト体系を多次元データモデルへ交換するレイアウト変換機能を搭載

#### 3 経営管理ニーズに対応できる高い柔軟性と拡張性

機能を拡張しても情報が分断されず、データ連携の精度や速度が落ちないロジックで設計されており、 unnecessaryな労力やコストをかけずに各社の経営管理ニーズに対応することができます。プログラミング知識を必要とせず、マウス操作やマスタ設定で完結するUIでユーザビリティにも優れているため、経理・経営企画部門の担当者自身で機能を拡張することができます。



### 「AVANT Cruise」の機能



経営管理ソリューション事業

# AVANT Chart



## 将来予測・シミュレーションのプラットフォーム

グループ経営の戦略・シナリオ策定に適したBIプラットフォームです。制度連結データ、管理会計データ、非財務データなどを集約し、将来予測・シミュレーションを迅速に行うことができます。

### 解決する顧客課題

- 将来予測業務をExcelで行うのが複雑で難しくなっている。また、担当者に運用を依存している。
- 環境変化が予測困難な現代において、成り行きベースの成長を前提とした勘と経験によって事業の将来を見通すことに危機感を覚える。
- ROICを3%向上させるために売上5%増を目指す場合の資本構成などのシミュレーションをしたいが、システムや体制が整っていない。

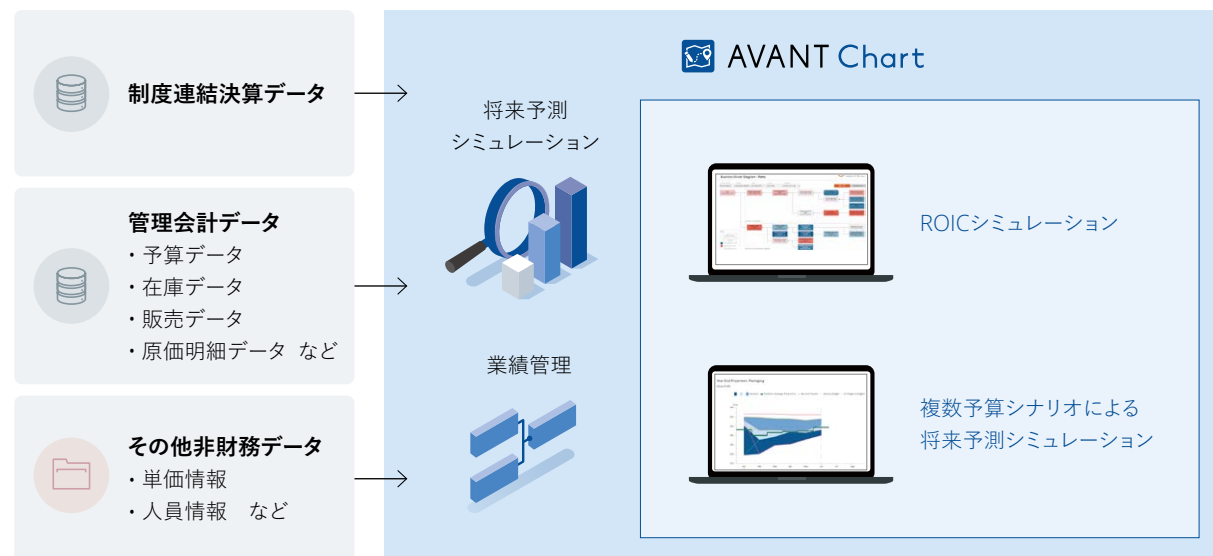
### 特長

#### 1 情報のインプットだけで高度なKPI・経営分析を実行

KPIテンプレートを標準搭載しているため、自社の会計情報・PSI(生産・販売・在庫)情報を「AVANT Chart」へ投入するだけで即座に高度なKPI・経営分析を開始できます。企業価値を各事業等の構成因子に分解したバリューツリー<sup>[8]</sup>を作成することで、グループ経営管理や事業管理に役立てることが可能です。

#### 2 シナリオ分析機能

将来のシナリオを入力し、入力結果に基づく将来着地やKPIをシミュレーションすることができます。楽観シナリオと悲観シナリオなど、複数のシナリオを作成し、視覚的なレポートで利益幅・トレンドのシミュレーション結果を比較し、意思決定を行うことができます。



経営管理ソリューション事業

# AVANT Compass

Powered by NOMURA



## 自社・他社の経営情報をすぐに使える企業価値分析クラウド

社内のさまざまなデータや他社の開示情報のデータとスムーズに連携して企業価値分析ができるクラウドサービスです。豊富な経営管理テンプレートを扱うことでデータを可視化し、経営管理における幅広い業務で活用することができます。

### 解決する顧客課題

- 2023年3月に東京証券取引所から通知された「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」の要請(いわゆる「東証要請」)に関する開示ができていない。または形式的な対応となっている。
- 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を開示した取り組みについて、継続的なモニタリングができていない。
- PBRが低位で推移している現状について、投資家の視点を踏まえた分析・評価が十分にできていない。

### 特長

#### 1 野村証券(株)との共同開発

開発にあたって、全コンテンツの設計を野村証券(株)が監修。同社の長年の企業価値分析のノウハウと当社のソフトウェア開発技術を融合させました。同社エクイティ・アナリストの業績予想を活用したKPIの目標設定やクオンツ・アナリストによる負債コスト推計ロジックを活用した資本コスト算出など、共同開発でなければご提供できない機能も実装しています。

具体的には、市場評価や資本収益性等について、時系列推移・同業他社とのベンチマーク比較・要素分解など、多様なコンテンツを準備しているため、これらを用いて現状を的確に把握し、評価するとともに、具体的な目標を定めることが可能となります。また、システムの継続利用により、継続的に同じ情報の推移を確認できるため、取り組みの効果を取締役会でモニタリングし、PDCAサイクルを回すことが可能となります。

#### 2 東証要請に対応したコンテンツ

東証要請に対応する形式で、現状を分析・評価し、改善に向けた方針・具体的な目標、取り組みや施策の実施時期を定め、これを開示したうえで、経営を推進し、投資家と積極的な対話を実施することを支援します。

#### 3 必要データの保有

全上場企業の過去10年間～最新の財務諸表および株価データ、TOPIX、リスクフリーレートやリスクプレミアムなど、資本コストの推計や自社の評価、同業他社とのベンチマーク比較に必要な情報はシステム内に保有しているため、データを追加で入手してスプレッドシート上で計算を行うような手間は必要ありません。

AVANT Cruise	財務・非財務情報 / 連結原価 / 多軸会計	<p>豊富なテンプレートで業務効率化と経営情報のDXを実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他社ベンチマーク比較</li> <li>事業ポートフォリオ可視化</li> <li>グループ会社管理レポート</li> <li>予実差異分析ダッシュボード</li> </ul>
開示Net	他社開示情報データベース / 他社財務 / 経営指標	
DivaSystem LCA	連結会計 (制度 / 管理)	
CSV / Excelファイル	その他経営情報	



DX推進事業



## データドリブン経営の実現を推進するクラウドデータプラットフォーム

クラウド上にデータレイク、データウェアハウス、BIツールを兼ね備えていることに加え、運用は全てジールが担うオールインワンのソリューションで、データの統合と分析を実現します。

解決する  
顧客課題

- 経営情報(データ)を常に可視化できる環境が整っておらず、経営者が本当に必要なデータを、必要な切り口で見ることができないため、タイムリーな経営判断が行えない。
- 経営企画担当者が経営会議に向け社内に散在する経営情報をExcelで収集・加工しており、そのルーチンワークに工数を要するうえ、特定の担当者に属人化しつつある。それにより、経営者からのリクエストに速やかに対応できない。

特長

### 1 最新の経営情報を可視化・分析することが可能

データプラットフォームに蓄積されたデータを分析機能(BI)で可視化します。これによりさまざまな切り口による分析やデータ集計が可能となり、より高度な経営データの活用につながります。

### 2 業務の効率化に貢献

データプラットフォームの導入により、Excelによるルーチンワークから解放され、必要に応じて誰もがデータにアクセス可能となります。過去から現在までの分析に必要なデータがクラウド上に蓄積されており、経営層からのさまざまなリクエストにも容易に対応できます。

DX推進事業



## 要因分析や将来予測を可能にするオープンデータ活用サービス

顧客の自社データと組み合わせてオープンデータを活用することで、自社データだけでは気付かなかった要因分析や将来予測が可能になります。

解決する  
顧客課題

- 経営分析において、同業他社の財務状況と自社の財務状況を比較し相対的に判断したいが、データの収集や加工作業に時間がかかり、分析業務の時間が確保できていない。
- 世の中の消費動向や景気の動きを踏まえて自社会員の購買動向とのギャップを把握したいが、毎月のデータ更新作業の負荷が高い。

特長

### 1 さまざまなオープンデータの収集・加工・更新の作業負担を軽減

データを1カ所から提供するため、Webサイト上に散在するさまざまな形式のデータを都度探して収集する手間が不要となります。提供するオープンデータは使いやすく加工しており、すぐにデータ分析に活用することが可能です。

### 2 データ分析の高度化を実現

オープンデータの収集・加工・更新の作業負担がなくなるため、誰でも容易にデータを取得して、要因分析・原因分析・将来予測に利用することができます。また、取得したオープンデータに顧客の自社データを掛け合わせることで、高度なデータ分析ができるようになります。

DX推進事業



## データドリブン人財育成に向けたeラーニングサービス

eラーニングサービスを活用していただくことで、顧客のデータドリブン人財育成に貢献します。

解決する  
顧客課題

- ビッグデータやAI等の最先端のデジタル技術を使ってDXを進めたいが、多種多様なデータを効率的かつ意味のあるものとして活用できる人財が社内に少なく、育成が難しい。

特長

### 1 データ利活用の初学者でもBIツールが活用可能に

データの取込・加工、モデリング、可視化までの一連の流れを体系的に習得できるようなコンテンツ構成となっており、データ利活用の経験がない人でも、BIツールの利用方法を習得することができます。

### 2 現場ですぐに活用可能なスキルを習得

座学だけでなく、実際に手を動かすハンズオン形式による分析レポート作成、学習した内容の演習形式による実践など、現場ですぐに利用可能なコンテンツを多数用意しています。

DX推進事業



## テキストおよび画像から機械学習でStoryを感情分析するAI系SaaS

AIによるデータ分析により、正確で精度が高く幅広い意思決定の根拠となる情報を得ることが可能となります。

解決する  
顧客課題

- 人間は自分が生み出した作品を素直に評価できず、必ずバイアス(偏り)が生まれる。
- 執筆中の原稿や制作中の動画に対して、客観的な目線が欲しい。

特長

### 1 AIによる定量的・客観的評価が可能

AI技術によってテキストで書かれたStoryをグラフで時系列化します。これにより、作品の流れが一目でわかり、改善ポイントを見つけることができます。

### 2 テキストだけでなく画像に対しても機械学習で感情分析が可能

画像に対しても機械学習で感情分析し、改善点を提案します。エンターテインメント業界の利用以外にも、営業用プレゼンテーション資料の分析やWebマーケティング分析などにも応用が可能です。